

コンクリートポンプ車 検査・整備基準値表



公益
社団法人

建設荷役車両安全技術協会

ま え が き

車両系建設機械を有効に稼働させ、常に安全な状態に維持するためには、適正な定期自主検査と整備作業がなされなければなりません。

そのためには、検査結果の良否の判断のもと、及び整備作業のもととなる基準が常に利用できる状態であることが大切です。

各機械の検査・整備基準が検査・整備業に広く開示される必要があるとの観点から、「検査・整備基準値表」を作成しています。

「検査・整備基準値表」の編集にあたっては、当協会の公益性に鑑み、国内で販売されている対象機種の商品をできるだけ多く網羅することを基本方針としていますが、幸いにも多くのメーカーの賛同を得て、掲載する社数も前版より3社増え今般、改訂4版を発行する運びとなりました。

当協会の趣旨に賛同くださり、編集委員の派遣、原稿の提供等に快く応じてくださった各メーカー及び関係各位に対し、心よりお礼を申し上げます。

平成 28 年 3 月

(公社) 建設荷役車両安全技術協会
会 長 吉 識 晴 夫

今回の改訂にご尽力頂いた委員の方々は次のとおりです。

委 員	安 田 俊 一	極東開発工業株式会社
〃	近 藤 澄 男	株式会社岩田商会
〃	永 谷 英 一	日工株式会社
〃	小 林 淳	〃
〃	金 田 智 之	〃
〃	西 村 昌 樹	IHI 建機株式会社
〃	舟 井 克 輝	株式会社第一・テクノ
〃	川 村 健 二	株式会社シンテック
〃	池 田 周 五	ブツマイスタージャパン株式会社
〃	菱 口 秀 雄	株式会社国際建機販売
〃	西 澤 眞	ズームライオン・ジャパン株式会社
〃	佐 藤 亮 治	〃
原稿提供	長谷川 昌弘	有限会社ベトンテック
事 務 局	岡 部 明 夫	(公社) 建設荷役車両安全技術協会
〃	赤 池 洋 次	〃
〃	佐 口 慶 典	〃

検査・整備基準値表の利用上の留意事項

1 「検査・整備基準値表」の表示

- (1) メーカーごとにまとめ、ア～オ順に掲載しています。
 - (2) 機械のタイプで分類し、概ね機体質量の軽いものから重いものへの順に掲載しています。
 - (3) 紙面の都合上、1枚物の表を4分割した形で載せています。
 - 1 ページ目（左上：左端の行に検査箇所と検査項目の上側半分を表記）
 - 2 ページ目（右上：機種数が4を越えるばあい、5機種目からはここへ記入される。4機種以内の場合は、本ページはブランクとなる。）
 - 3 ページ目（左下：左端の行に検査箇所と検査項目の下側半分を表記）
 - 4 ページ目（右下：機種数が4を越えるばあい、5機種目からはここへ記入される。4機種以内の場合は、本ページはブランクとなる。）
- 1 ページ目と2 ページ目が、また3 ページ目と4 ページ目が、見開きページにしたとき左右のページに対で表れるよう編集しています。

2 収録機種の範囲

(1) 時期的な収録範囲

この「検査・整備基準値表」は平成22年10月以降、平成27年9月末迄に日本国内において製造又は販売されているモデルを極力収録してあります。

これ以外の機械の仕様は、旧版（SS-RC-01-B）をご参照ください。

(2) モデルサイズの収録範囲

この「検査・整備基準値表」には、コンクリートポンプ車（トラック式のブーム車及び配管車を収録してあります。

3 「検査・整備基準値表」の項目の選定

- (1) 定期自主検査指針（平成5年12月付 公示16号）において「メーカーの定める基準値」と表記してある項目を収録してその基準値を数値で表示することを原則としていますが、追加収録する項目の選定及び基準値の表記方法等はメーカーの自主判断に委ねてあります。
- (2) 「新車のみに適用される基準値」であることを特に表示する場合には、当該基準値の左肩上に☆印を付し、表の脚注に「新車基準値」である旨を表記してあります。

コンクリートポンプ車 検査・整備基準値表

目 次

IHI 建機株式会社	IPG100B-8E26/4～	2
株式会社岩田商会	IC45-12L～	8
極東開発工業株式会社	PY125-36A～	14
	PH50B-18～	18
株式会社国際建機建機販売 (ジョンジン)	JXZ25-4.11HP～	24
(セルマック)	5Z32 SCL150～	30
ズームライオン・ジャパン株式会社	K23X-4Z～	34
日工株式会社	DC-M700BS～	40
プツマイスタージャパン株式会社	BSF24.11H～	46
有限会社ベトンテック (エヴァダイム)	28M～	52

I H I 建機

適用範囲		モデル名		IPG100B-8E26/4	IPG100T-16E	S34X	
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁
			最大吐出量	m ³ /h 100/65	100/55	138	
			最大吐出圧力	MPa 8.1/5.2	15.9/8.6	8.5	
			ブーム最大地上高	m 26	—	34	
		適用号機		DR20001～	DK10001～	DJ0001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	30/19.5±1	31/17±1	27±1
			ローター回転数	回/min	—	—	—
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1800)	(1800)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)
			(作動油温度)	(℃)	(50±5)	(50±5)	(50±0)
		かくはん 攪拌装置	回転速度	min ⁻¹	31±2	35±2	±
			チェーンのたわみ	mm	—	—	±
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1800)	(±)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(±)
			(作動油温度)	(℃)	(50±5)	(50±5)	(±)
	真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	Pa	—	—	—	—
			(min)	(—)	(—)	(—)	(—)
		圧力降下許容値 (保持時間)	Pa	—	—	—	—
		(保持時間)	(min)	(—)	(—)	(—)	(—)
		Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—
	ブーム装置	シリンダー 自然降下量	ブーム (1) シリンダー	mm	1	—	1
			ブーム (2) シリンダー	mm	1	—	1
			ブーム (3) シリンダー	mm	1	—	1
			ブーム (4) シリンダー	mm	1	—	1
			ブーム (5) シリンダー	mm	—	—	—
		(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min)	(10)	(—)	(10)	(—)
			[図面No.]	[図 No. 1]	[図 No.]	[図 No. 1]	[図 No.]
		☆ ブームシリンダー 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	40±10	—	70±10
			縮み	sec	60±10	—	70±10
			ブーム (2) 伸び	sec	65±10	—	100±10
			縮み	sec	60±10	—	105±10
			ブーム (3) 伸び	sec	60±10	—	65±10
			縮み	sec	60±10	—	65±10
		(油圧ポンプ回転数) (作動油温度) (作業装置姿勢)	(min ⁻¹)	(1600)	(—)	(1800)	(±)
			(℃)	(50±5)	(—)	(50±5)	(±)
			[図面No.]	[図 No. 3]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	油圧 MPa	—	—	—	—
			水圧 MPa	3.9	9.8	—	—
			飛距離 m	—	—	—	—
	空圧機	吐出圧力	MPa	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1800)	(—)	(±)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(±)
		(作動油温度)	(℃)	(50±5)	(50±5)	(—)	(±)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

[illegible]

I H I 建機

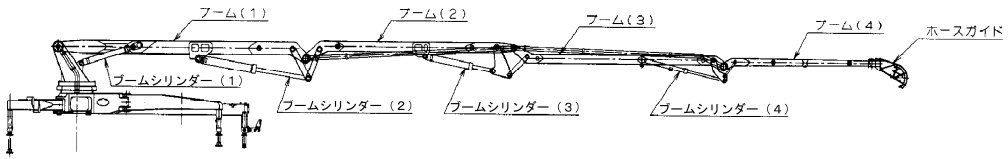
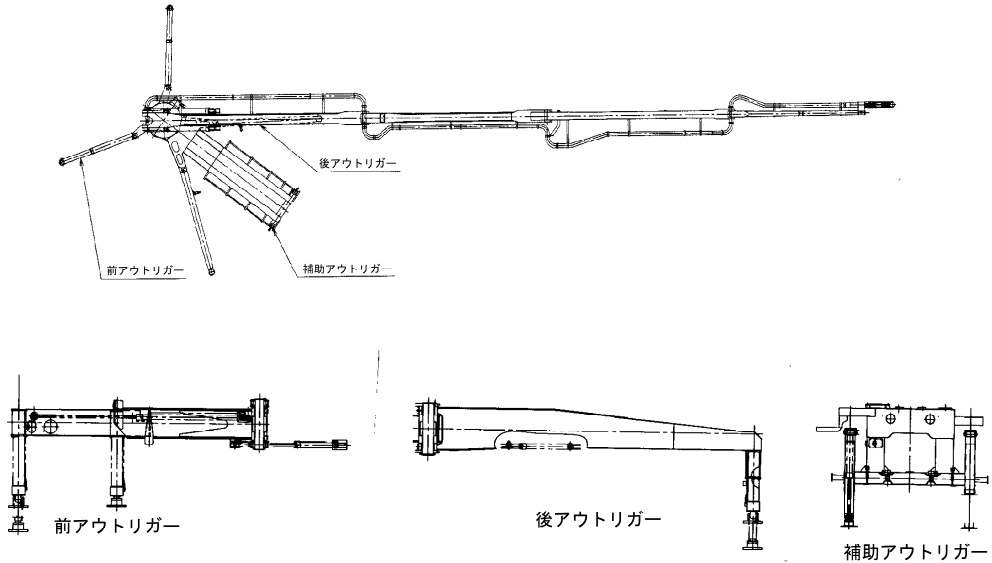
適用範囲		モデル名		IPG100B-8E26/4	IPG100T-16E	S34X	
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁
			最大吐出量	m ³ /h	100/65	100/55	138
			最大吐出圧力	MPa	8.1/5.2	15.9/8.6	8.5
			ブーム最大地上高	m	26	—	34
		適用号機		DR20001～	DK10001～	DJ0001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	31/20	31/17	37	
		弁シリンダー油圧	MPa	15/12	15/12	20	
		攪拌 ^{かくはん} モーター油圧	MPa	15	15	20	
		ブーム油圧	MPa	31	—	—	
		ACC ガス封入圧力	MPa	6.0	6.0	12	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1800)	(1800)	()
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	()
		(作動油温度)	(℃)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(±)
車体・安全装置	旋回	☆ 旋回ベアリング 取付けボルトの 締め付け	外輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	206+5	—	750+5
			内輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	412+5	—	750+5
			旋回ボルトの交換基準	年	注1	—	注1
	装置	☆ 旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	120±10	—	±
			(旋回作動角度)	(度)	(360)	(—)	(540)
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(—)	(1800)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)
			(作動油温度)	(℃)	(50±5)	(—)	(50±5)
	アウトリガー	シリンダー 自然伸縮量	各垂直シリンダー	mm	1	1	1
			(測定時間) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]
特記事項				吐出圧力高低 圧切替機能付き 主油圧リーフ、 弁圧2段切替	吐出圧力高低 圧切替機能付き 主油圧リーフ、 弁圧2段切替		
				注1 ①3年毎に内輪、外輪ともに全数交換 ②1本でも弛み、脱落、折損があった場合は内輪、 外輪ともに全数交換			

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

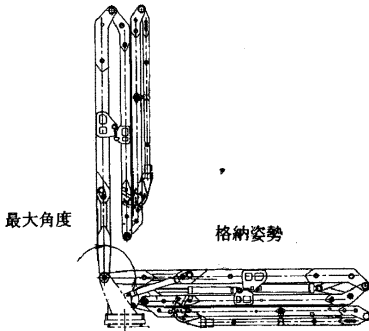
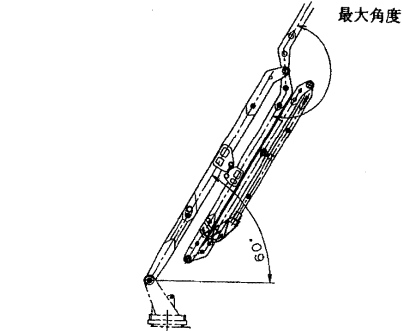
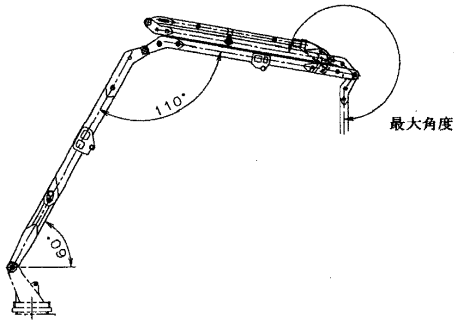
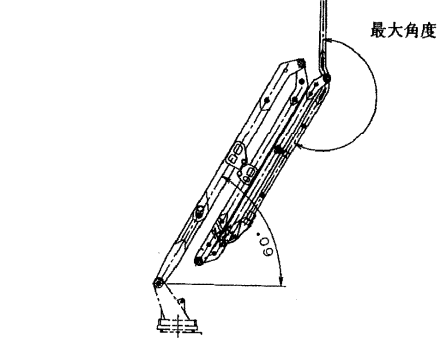
コンクリートポンプ車

検 査 基 準 値							
注1 ①3年毎に内輪、外輪ともに全数交換 ②1本でも弛み、脱落、折損があった場合は内輪、外輪ともに全数交換							

I H I 建機

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブーム シリンダー 自然降下	アウトリガーを最大に張り出し、ブームを真っ直ぐに伸ばした状態で保持する。各ブームシリンダーにダイヤルゲージを取付け、10分間の自然降下量を計測する。 ブーム先端は根元ホースのみとする。	図-1 ブームシリンダー自然降下計測姿勢 (下図参照) 
アウトリガー シリンダー 自然降下	ブームを水平に伸ばし、アウトリガー真上位置に置く。アウトリガーにダイヤルゲージを取付け、10分間の自然降下量を計測する。	図-2 アウトリガーシリンダー自然降下計測姿勢 

コンクリートポンプ車

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブーム作動速度	アウトリガーを最大に張り出し、各ブームシリンダーの全ストロークの作動時間をストップウォッチで計測する。計測姿勢は右記の通り。	図-3 ブーム作動速度計測姿勢 (下図参照)
		ブーム（１）計測姿勢  ブーム（２）計測姿勢  ブーム（３）計測姿勢  ブーム（４）計測姿勢 
旋回作動速度	アウトリガーを最大に張り出し、右記のブーム姿勢にて360° 旋回の作動時間をストップウォッチで計測する。	図-4 旋回作動速度計測姿勢
		

岩 田 商 会

適 用 範 囲		モ デ ル 名		IC-45B-12L			
		主仕様	吸 吐 弁 型 式	—	スクイズ		
			最 大 吐 出 量	m ³ /h	45		
			最 大 吐 出 圧 力	MPa	2.16		
			フ ^{ーム} 最大地上高	m	12		
		適 用 号 機					
区 分	検 査 箇 所	検 査 項 目 (条件)		単 位	検 査 基 準 値		
作 業 装 置	圧 送 装 置	ポ ン プ 本 体	ピストンストローク回数	回/min	—		
			ローター回転数	回/min	34		
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800)		
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)		
			(作 動 油 温 度)	(°C)	(50±5)		
		か かく はん 攪 拌 装 置	回 転 速 度	min ⁻¹	34±3		
			チェーンのたわみ	mm	15±10		
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800)		
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)		
			(作 動 油 温 度)	(°C)	(50±5)		
	真 空 ポ ン プ	圧 力 設 定 値 (設定値到達時間)	Pa	(min)	80		
			(10以下)				
		圧力降下許容値 (保 持 時 間)	Pa	(min)	5.7		
			(10)				
		V ベルトのたわみ		mm	—		
	シリンダー 自然降下量 ブ ー ム 装 置	シリンダー 自然降下量	ブーム (1) シリンダー	mm	2以下		
			ブーム (2) シリンダー	mm	2以下		
			ブーム (3) シリンダー	mm	2以下		
			ブーム (4) シリンダー	mm	—		
			ブーム (5) シリンダー	mm	—		
		(測 定 時 間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min)	(10)			
			[図 面 No. 1]				
			[図 面 No. 1]				
		☆ ブームシリンダー 作動時間	ブーム (1) 伸 び	sec	38±5		
			縮 み	sec	45±5		
			ブーム (2) 伸 び	sec	20±5		
			縮 み	sec	25±5		
			ブーム (3) 伸 び	sec	25±5		
			縮 み	sec	35±5		
		ブーム (4) 伸 び	sec	—			
			縮 み	sec	—		
			ブーム (5) 伸 び	sec	—		
			縮 み	sec	—		
		(油圧ポンプ回転数) (作 動 油 温 度) (作業装置姿勢)	(min ⁻¹)	(1500)			
			(°C)	(50±5)			
			[図 面 No. 2]	[図 No. 2]			
洗 浄 装 置	水 ポ ン プ (配管洗浄用)	吐 出 圧 力	油 圧	MPa	—		
			水 圧	MPa	0.17		
			飛距離	m	5		
	空 圧 機	吐 出 圧 力	MPa	—			
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)		
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)		
			(作 動 油 温 度)	(°C)	(—)		

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

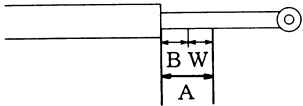
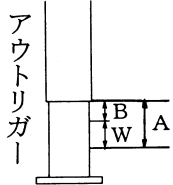
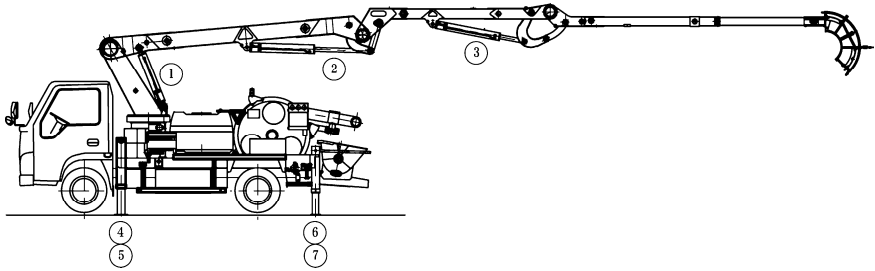
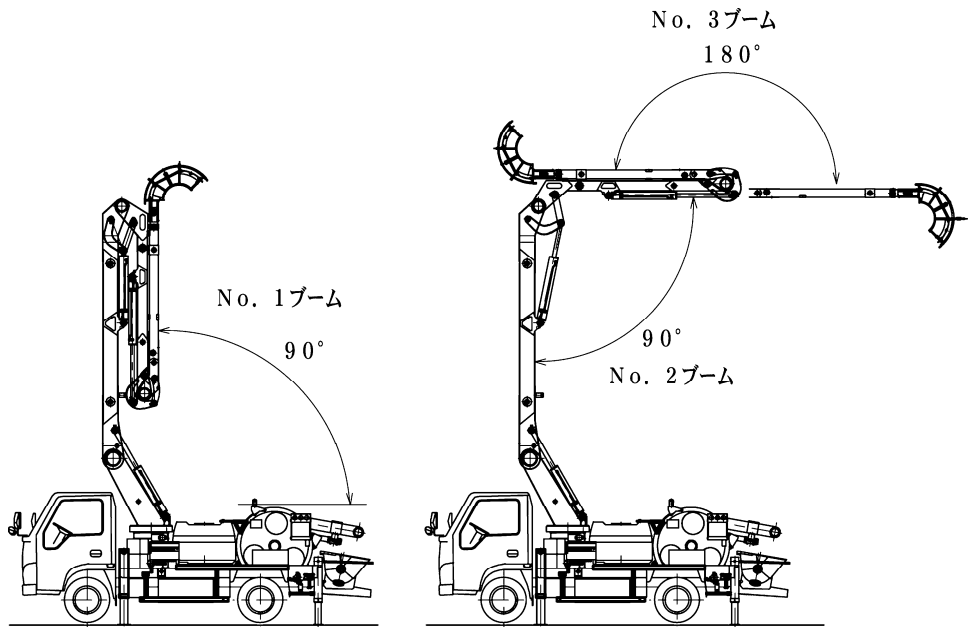
岩 田 商 会

適用範囲		モデル名		IC-45B-12L				
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイズ			
			最大吐出量	m ³ /h	45			
			最大吐出圧力	MPa	2.16			
			ブーム最大地上高	m	12			
		適用号機						
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	20.6±0.5				
		弁シリンダー油圧	MPa	—				
		攪拌 ^{かくはん} モーター油圧	MPa	8.8±0.5				
		ブーム油圧	MPa	20.6±0.5				
		ACC ガス封入圧力	MPa	—				
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800)				
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)					
	(作動油温度)	(℃)	(50±5)					
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締め付け	外輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	440±20(φ20)				
		内輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	440±20(φ20)				
		旋回ボルトの交換基準	年	注1				
	☆ 旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	30±5				
		(旋回作動角度)	(度)	(90)				
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1500)				
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)				
		(作動油温度)	(℃)	(50±5)				
	☆ アウトリガー 自然伸縮量	各垂直シリンダー	mm	2以下				
(測定時間) (作業装置姿勢)		(min) [図面No.]	(10) [図 No. 1]					
特記事項				注1： 旋回ベアリング取付けボルトの中で緩み（新車基準トルク以下）がある場合は、そのボルトと両隣各2本の合計5本のボルトを交換する。 さらに、外輪取付けボルトの中で1本でも折損、脱落がある場合は外輪取付けボルトを全数を交換する。 また、内輪取付けボルトの中で、1本でも折損および脱落がある場合は内輪取付けボルトを全数を交換する。				

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

検 査 基 準 値							

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
アウトリガー 自然伸縮量 ブーム シリンダー 自然降下量	降下量$W = A - B$ (測定箇所：右図①～③) ブームシリンダー  伸縮量$W = A - B$ (測定箇所：右図④～⑦) 	図-1 ブームシリンダー自然降下計測姿勢 及びアウトリガー自然伸縮計測姿勢 
ブーム シリンダー 作動時間	図-2 ブーム作動速度計測姿勢 	

コンクリートポンプ車

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢

極東開発工業

適用範囲		モデル名		PY125-36A	PY125-36A (KOMT 付)	PY135-28-H	PY135-26-H
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイング	スイング	スイング
			最大吐出量	m ³ /h	124(90)	124(90)	135(100)
			最大吐出圧力	MPa	4.9(7.0)	4.9(7.0)	8.5(13.3)
			フォーム最大地上高	m	35.6	35.6	27.9
		適用号機		11P12-3010～	11P12-3010～	14P02-0010～	13P04-0007 13P06-0024 13P11-0014
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ピストンストローク回数 ローター回転数	回/min 回/min	24±2 —	24±2 —	26±2 —	26±2 —
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1489 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1489 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (1654 ⁺⁰ ₋₄₀) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (1990 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)
		回転速度 チェーンのたわみ	min ⁻¹ mm	31±3 —	31±3 —	33±3 —	36±3 —
	真空ポンプ	(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1489 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1489 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (1654 ⁺⁰ ₋₄₀) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (1990 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)
		圧力設定値 (設定値到達時間)	MPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		圧力降下許容値 (保持時間)	MPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
	シリンダー 自然降下量	Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—
		ブーム(1) シリンダー ブーム(2) シリンダー ブーム(3) シリンダー ブーム(4) シリンダー ブーム(5) シリンダー	mm mm mm mm mm	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 —
	☆ ブームシリンダー 作動時間	(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]
		ブーム(1) 伸び 縮み	sec sec	60±10 120±10	75±10 105±10	65±10 70±10	60±10 70±10
		ブーム(2) 伸び 縮み	sec sec	140±10 140±10	70±10 70±10	90±10 75±10	70±10 70±10
	☆ ブームシリンダー 作動時間	ブーム(3) 伸び 縮み	sec sec	135±10 135±10	60±10 75±10	60±10 90±10	45±10 90±10
		ブーム(4) 伸び 縮み	sec sec	50±10 90±10	55±10 60±10	35±10 55±10	30±10 40±10
		ブーム(5) 伸び 縮み	sec sec	— —	— —	— —	— —
	☆ ブームシリンダー 作動時間	(油圧ポンプ回転数) (作動油温度) (作業装置姿勢)	(min ⁻¹) (°C) [図面No.]	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]
	洗浄装置	吐出圧力 油圧 水圧 飛距離	MPa MPa m	23.5±1 6.6 —	23.5±1 6.6 —	23.5±1 10.5 —	23.5±1 10.5 —
		吐出圧力	MPa	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(1200 ⁺⁰ ₋₅₀) (992 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1200 ⁺⁰ ₋₅₀) (992 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1380 ⁺⁰ ₋₅₀) (1141 ⁺⁰ ₋₄₀) (50±10)	(1150 ⁺⁰ ₋₅₀) (1141 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

PY75B-17	PY120-30	PT110-10	PY90-17				
スイング	スイング	スイング	スイング				
78(55)	121(87)	112(83)	90(65)				
3.2(4.9)	4.9(7.0)	10.1(16.0)	5.9(8.5)				
16.6	29.8	<フーム無し>	16.6				
13P10-0004～	12P06-0007～	14P0*-****～	15P06-0016～				
検 査 基 準 値							
36±2 —	27±2 —	26±2 —	39±2 —				
(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (1739 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (1654 ⁺⁰ ₋₄₀) (50±10)	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀) (1875 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)				
31±3 20・チェン中央	31±3 —	33±3 —	34±3 20・チェン中央				
(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (1739 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (1654 ⁺⁰ ₋₄₀) (50±10)	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀) (1875 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)				
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)				
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)				
—	—	—	—				
0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 — —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 —	— — — — —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 — —				
(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(—) (—) [—]	(10) (—) [図 No. 1]				
70±10 70±10	60±15 95±10	— —	70±10 70±10				
55±10 70±10	65±10 75±10	— —	55±10 65±10				
65±10 90±10	80±10 95±10	— —	55±10 85±10				
— —	35±10 70±10	— —	— —				
— —	— —	— —	— —				
(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(—) (—) [—]	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]				
27.5±1 4.9 —	23.5±1 6.6 —	23.5±1 10.5 —	23.5±1 6.6 —				
—	—	—	—				
(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (1739 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1380 ⁺⁰ ₋₅₀) (1141 ⁺⁰ ₋₄₀) (50±10)	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀) (1875 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)				

極東開発工業

適用範囲		モデル名		PY125-36A	PY125-36A (KOMT 付)	PY135-28-H	PY135-26-H
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイング	スイング	スイング
			最大吐出量	m ³ /h	124(90)	124(90)	135(100)
			最大吐出圧力	MPa	4.9(7.0)	4.9(7.0)	8.5(13.3)
			ブーム最大地上高	m	35.6	35.6	27.9
		適用号機		11P12-3010～	11P12-3010～	14P02-0010～	13P04-0007 13P06-0024 13P11-0014
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	29.4±1	29.4±1	34.3±1	34.3±1
		弁シリンダー油圧	MPa	29.4±1	29.4±1	18.6±1	18.6±1
		攪拌 ^{かくはん} モーター油圧	MPa	13.7±1	13.7±1	13.7±1	13.7±1
		ブーム油圧	MPa	34.3±1	34.3±1	34.3±1	27.5±1
		ACC ガス封入圧力	MPa	—	—	7.8±1	7.8±1
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1489 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1489 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1654 ⁺⁰ ₋₄₀)	(1990 ⁺⁰ ₋₅₀)
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締付け	外輪取付けボルトの 締付けトルク	N・m	—	—	—	294±9.8
		内輪取付けボルトの 締付けトルク	N・m	—	—	—	294±9.8
		旋回ボルトの交換基準	年	—	—	—	特記 5)
	☆ 旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	135±10	70±10	155±15	165±15
		(旋回作動角度)	(度)	(370・限定旋回)	(370・限定旋回)	(370・限定旋回)	(360・全旋回)
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1489 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1489 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1654 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1990 ⁺⁰ ₋₅₀)
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
	アウト トリガー	各垂直シリンダー	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]
特記事項				1) 油圧ポンプは斜板を最大吐出量の状態にすること。 2) 標準圧送システムの場合について示す。 3) 自動給油は給油されていることを確認すること。 4) シリンダー耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。 5) 締付けトルクを下回る緩みが1本でもあればそのベアリング輪 (外輪 又は 内輪)のボルト全数交換。 6) ブーム制振装置 ACC ガス封入圧力13.8MPa			
				注 5) は適用外			注 6) ブーム制振 装置 ACC ガ ス封入圧力 14.0MPa

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

PY75B-17	PY120-30	PT110-10	PY90-17				
スイング	スイング	スイング	スイング				
78(55)	121(87)	112(83)	90(65)				
3.2(4.9)	4.9(7.0)	10.1(16.0)	5.9(8.5)				
16.6	29.8	〈ブーム無し〉	16.6				
13P10-0004～	12P06-0007～	14P0*-****～	15P06-0016～				
検 査 基 準 値							
27.5±1	29.4±1	34.3±1	29.4±1				
27.5±1	29.4±1	18.6±1	29.4±1				
10.8±1	13.7±1	13.7±1	13.7±1				
27.5±1	29.4±1	—	27.5±1				
—	—	7.8±1	—				
(1700 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀)				
(1739 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1654 ⁺⁰ ₋₄₀)	(1875 ⁺⁰ ₋₅₀)				
(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)				
325.6±9.8	—	—	325.6±9.8				
325.6±9.8	—	—	325.6±9.8				
特記 5)	—	—	特記 5)				
70±10	135±15	—	65±10				
(360・全旋回)	(370・限定旋回)	(—)	(360・全旋回)				
(1700 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(—)	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀)				
(1739 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)	(—)	(1875 ⁺⁰ ₋₅₀)				
(50±10)	(50±10)	(—)	(50±10)				
0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下				
(10)	(10)	(10)	(10)				
[図 No. 2]	[図 No. 2]	[—]	[図 No. 2]				
1) 油圧ポンプは斜板を最大吐出量の状態にすること。 2) 標準圧送システムの場合について示す。 3) 自動給油は給油されていることを確認すること。 4) シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。 5) 締付けトルクを下回る緩みが1本でもあればそのベアリング輪 (外輪 又は 内輪)のボルト全数交換。 6) ブーム制振装置 ACC ガス封入圧力14.0MPa							
注 6)は適用外	注 5)は適用外	注 4), 5), 6)は適用外	注 6)は適用外				

極東開発工業

適用範囲		モデル名		PH50B-18			
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイーズ		
			最大吐出量	m ³ /h	50(36)		
			最大吐出圧力	MPa	1.8(2.5)		
			フォーム最大地上高	m	18		
		適用号機		11P09-3006～			
区分	検査箇所	検査項目(条件)		単位	検査基準値		
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	—		
			ローター回転数	回/min	40±1		
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹)	(min ⁻¹)	(2160 ⁺⁰ ₋₅₀)		
			(min ⁻¹)	(min ⁻¹)	(シャシで異なる)		
			(°C)	(°C)	(50±10)		
		かくはん攪拌装置	回転速度	min ⁻¹	30±3		
			チェーンのたわみ	mm	20・チェーン中央		
			(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(2160 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)		
	真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	MPa (min)	0.083 (10分以内)			
			MPa (min)	0.007 (60)			
		Vベルトのたわみ		mm	(電動モータ駆動)		
	ブーム装置	シリンダー 自然降下量	ブーム(1) シリンダー	mm	0.5 以下		
			ブーム(2) シリンダー	mm	0.5 以下		
			ブーム(3) シリンダー	mm	0.5 以下		
			ブーム(4) シリンダー	mm	0.5 以下		
			ブーム(5) シリンダー	mm	—		
		(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min)	(min)	(10)		
			(min)	(min)	(—)		
			[図面No.]	[図面No.]	[図 No. 1]		
		☆ ブームシリンダー 作動時間	ブーム(1) 伸び	sec	65±10		
			ブーム(1) 縮み	sec	65±10		
			ブーム(2) 伸び	sec	65±10		
			ブーム(2) 縮み	sec	75±10		
			ブーム(3) 伸び	sec	45±10		
			ブーム(3) 縮み	sec	60±10		
		ブーム(4) 伸び 縮み	sec	sec	30±5 35±5		
			sec	sec	—		
			sec	sec	—		
		(油圧ポンプ回転数) (作動油温度) (作業装置姿勢)	(min ⁻¹)	(°C)	(2160 ⁺⁰ ₋₅₀)		
			(°C)	(°C)	(50±10)		
			[図面No.]	[図面No.]	[図 No. 3]		
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	油圧 MPa	MPa	—		
			水圧 MPa	MPa	2.5		
	空圧機	吐出圧力	MPa	MPa	—		
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)		
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)		
			(作動油温度)	(°C)	(—)		

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

[illegible]

極東開発工業

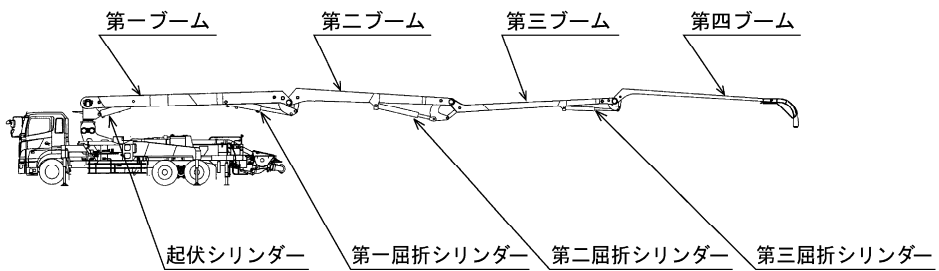
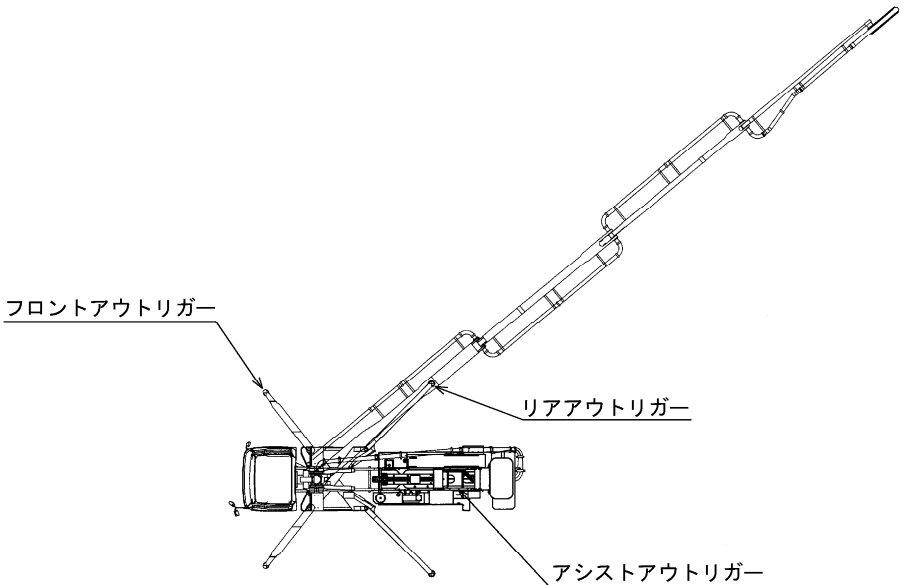
適用範囲		モデル名		PH50B-18				
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイーズ			
			最大吐出量	m ³ /h	50(36)			
			最大吐出圧力	MPa	1.8(2.5)			
			ブーム最大地上高	m	18			
		適用号機		11P09-3006～				
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	25.0±1				
		弁シリンダー油圧	MPa	—				
		攪拌 ^{かくはん} モーター油圧	MPa	8.0±1				
		ブーム油圧	MPa	27.5±1				
		ACC ガス封入圧力	MPa	—				
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2160 ⁺⁰ ₋₅₀)				
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(シャシで異なる)					
	(作動油温度)	(℃)	(50±10)					
車体・安全装置	☆旋回装置	外輪取付けボルトの 締付けトルク	N・m	325.6±9.8				
		内輪取付けボルトの 締付けトルク	N・m	325.6±9.8				
		取付ボルトの交換基準	年	特記 4)				
	☆旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	90±10				
		(旋回作動角度)	(度)	(360・全旋回)				
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2160 ⁺⁰ ₋₅₀)				
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(シャシで異なる)				
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)				
	アウトリガー	各垂直シリンダー	mm	0.5 以下				
		(測定時間)	min	(10)				
	自然伸縮量	(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 2]				
特記事項				1)ポンプ圧力の測定は特殊治具を必要とし危険が伴うのでオペレータに異常の有無を確認し異常が無ければ省略する。 2)可変式油圧ポンプの場合は斜板を最大に切り換えた状態とする。 3)シリンダー耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。 4)締付けトルクを下回る緩みが1本でもあればそのベアリング輪(外輪 又は 内輪)のボルト全数交換。				

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

検 査 基 準 値							

極東開発工業

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブーム シリンダー 自然降下	アウトリガーを最大に張り出し、ブームをまっすぐに伸ばした状態で保持する。各ブームシリンダーにダイヤルゲージを取り付け、10分間の自然降下量を計測する。 ブーム先端は先端ホースのみとし、過重は加えない。	図-1 ブームシリンダー自然降下計測姿勢 (下図参照) 
アウトリガー シリンダー 自然降下	ブームを水平に伸ばし、測定対象のアウトリガーの真上に置く。アウトリガーにダイヤルゲージを取り付け、10分間の自然降下量を計測する。	図-2 アウトリガーシリンダー自然降下計測姿勢 

コンクリートポンプ車

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブーム旋回 作動速度	アウトリガーを最大に張り出し、各ブームシリンダーの全ストロークの作動時間をストップウォッチで計測する。	図-3 ブーム作動速度計測姿勢 (下図参照)

国際建機販売（ジョンジン）

適用範囲		モデル名		JXZ25-4.11HP	JXZ28-4.11HP	JXZ30-4.16HP	JXZ32-4.16HP	
		主仕様	吸吐弁型式	—	S2018	S2018	S2018	S2018
			最大吐出量	m ³ /h	110	110	160	160
			最大吐出圧力	MPa	7.9	7.9	7	7
			ブーム最大地上高	m	24.5	27.5	29.1	31.2
		適用号機		25XZ0038E～	28XZ0147E～	30XZ0001E～	32XZ0017E～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	26	26	30	30
			ローター回転数	回/min	—	—	—	—
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	2060	2060	2060	2060
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	1650	1650	1650	1650
		(作動油温度)	(℃)	50±10	50±10	50±10	50±10	
		攪拌装置	回転速度	min ⁻¹	40±1	40±1	40±1	40±1
			チェーンのたわみ	mm	—	—	—	—
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	2060	2060	2060	2060
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	1650	1650	1650	1650
		(作動油温度)	(℃)	50±10	50±10	50±10	50±10	
		真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	Pa (min)	()	()	()	()
			圧力降下許容値 (保持時間)	Pa (min)	()	()	()	()
	Vベルトのたわみ		mm					
	ブーム装置		シリンダー 自然降下量	ブーム (1) シリンダー	mm	1.5以下	1.5以下	1.5以下
		ブーム (2) シリンダー		mm	1.5以下	1.5以下	1.5以下	1.5以下
		ブーム (3) シリンダー		mm	1.5以下	1.5以下	1.5以下	1.5以下
		ブーム (4) シリンダー		mm	1.5以下	1.5以下	1.5以下	1.5以下
		ブーム (5) シリンダー		mm	—	—	—	—
		(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)		(min) [図面No.]	10 () [図 No. 1]	10 () [図 No. 1]	10 () [図 No. 1]	10 () [図 No. 1]
		☆ ブームシリンダー 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	45±10	65±10	55±10	60±10
			縮み	sec	45±10	65±10	55±10	60±10
			ブーム (2) 伸び	sec	59±10	80±10	75±10	80±10
			縮み	sec	59±10	80±10	75±10	80±10
			ブーム (3) 伸び	sec	54±10	75±10	70±10	75±10
縮み			sec	54±10	75±10	70±10	75±10	
	ブーム (4) 伸び	sec	27±10	45±10	35±10	40±10		
	縮み	sec	27±10	45±10	35±10	40±10		
	ブーム (5) 伸び	sec	—	—	—	—		
	縮み	sec	—	—	—	—		
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	2060	2060	2060	2060		
	(作動油温度)	(℃)	50±10	50±10	50±10	50±10		
(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]			
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	2	2	2	2	
		油圧 水圧 飛距離	MPa m					
	空圧機	吐出圧力	MPa	0.7	0.7	0.7	0.7	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	2060	2060	2060	2060	
(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	1650	1650	1650	1650			
(作動油温度)	(℃)	50±10	50±10	50±10	50±10			

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

JXZ36-4. 16HP							
S2018							
160							
7							
35.5							
36XZ0945E～							
検 査 基 準 値							
30 —							
2060 1650 50±10							
40±1 —							
2060 1650 50±10							
()							
()							
1.5以下 1.5以下 1.5以下 1.5以下 —							
10 [図 No. 1]							
80±10 80±10							
105±10 105±10							
95±10 95±10							
50±10 50±10							
— —							
2060 50±10 [図 No. 2]							
2							
0.7							
2060 1650 50±10							

国際建機販売（ジョンジン）

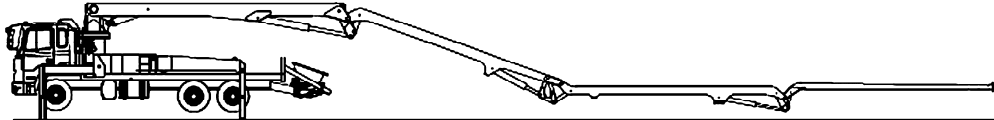
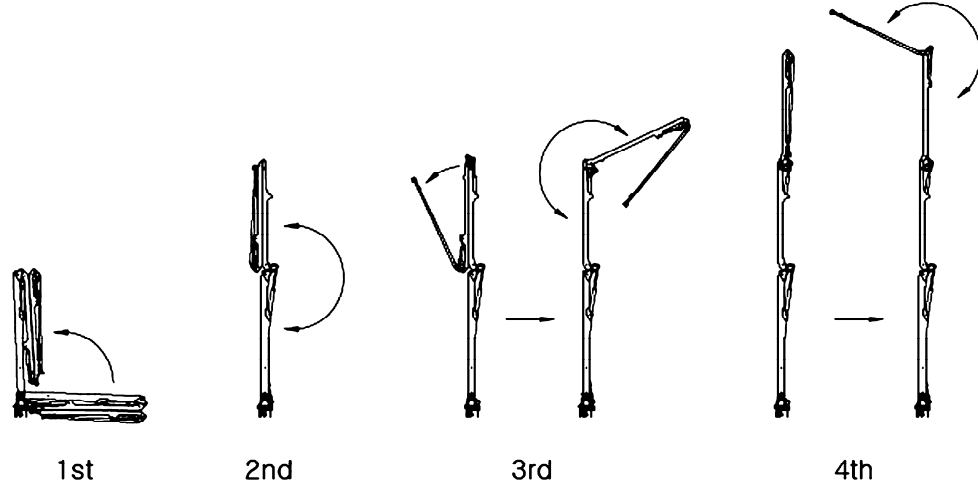
適用範囲		モデル名		JXZ25-4. 11HP	JXZ28-4. 11HP	JXZ30-4. 16HP	JXZ32-4. 16HP	
		主仕様	吸吐弁型式	—	S2018	S2018	S2018	S2018
			最大吐出量	m ³ /h	110	110	160	160
			最大吐出圧力	MPa	7. 9	7. 9	7	7
			ブーム最大地上高	m	24. 5	27. 5	29. 1	31. 2
		適用号機		25XZ0038E～	28XZ0147E～	30XZ0001E～	32XZ0017E～	
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	35±1	35±1	35±1	35±1	
		弁シリンダー油圧	MPa	19±1	19±1	19±1	19±1	
		攪拌 ^{かくはん} モーター油圧	MPa	20±1	20±1	20±1	20±1	
		ブーム油圧	MPa	35±1	35±1	35±1	35±1	
		ACC ガス封入圧力	MPa	—	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	2060	2060	2060	2060	
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	1650	1650	1650	1650		
(作動油温度)	(℃)	50±10	50±10	50±10	50±10			
車体・安全装置	☆旋回装置	外輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	—	—	—	—	
		内輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	—	—	—	—	
		旋回ボルトの交換基準	年	—	—	—	—	
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	87±10	110±10	130±10	115±10	
		(旋回作動角度)	(度)	360	360	360	360	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	2060	2060	2060	2060	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	1650	1650	1650	1650	
		(作動油温度)	(℃)	50±10	50±10	50±10	50±10	
	アウトリガー	各垂直シリンダー	mm	1. 0以下	1. 0以下	1. 0以下	1. 0以下	
		(測定時間) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	10 [図 No.]	10 [図 No.]	10 [図 No.]	10 [図 No.]	
特記事項								

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

JXZ36-4. 16HP							
S2018							
160							
7							
35.5							
36XZ0945E～							
検 査 基 準 値							
35±1 19±1 20±1 35±1 —							
2060 1650 50±10							
— — —							
142±10							
360 2060 1650 50±10							
1.0以下							
10 [図 No.]							

国際建機販売（ジョンジン）

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブーム シリンダー 自然降下	ブームシリンダーの自然降下 量の計測姿勢	図-1 ブームシリンダー自然降下計測姿勢 
ブーム作動速度	ブームの作動速度計測姿勢	図-2 ブーム作動速度計測順序  1st 2nd 3rd 4th

コンクリートポンプ車

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢

国際建機販売（セルマック）

適用範囲		モデル名		5Z32 SCL150	5Z37 SCL150	4ZR21 SCM80	
		主仕様	吸吐弁型式	—	S バルブ	S バルブ	S バルブ
			最大吐出量	m ³ /h	149	149	83
			最大吐出圧力	MPa	7.6	7.6	8.1
			ブーム最大地上高	m	32	37	21
		適用号機		6895～	6778～	—	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	28	28	27
			ローター回転数	回/min	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹)		2200±50	2200±50	2700±50
			(min ⁻¹)		1700±50	1700±50	1870±50
			(°C)		50°±10	50°±10	50°±10
		回転速度 チェーンのたわみ	min ⁻¹		40±1	40±	40±
			mm		—	—	—
		攪拌装置	(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	20 50°±10	20 50°±10	20 50°±10
	真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	Pa (min)		()	()	()
		圧力降下許容値 (保持時間)	Pa (min)		()	()	()
		Vベルトのたわみ	mm		—	—	—
	ブーム装置	シリンダー 自然降下量	ブーム (1) シリンダー	mm	1.5	1.5	1.5
			ブーム (2) シリンダー	mm	1.5	1.5	1.5
			ブーム (3) シリンダー	mm	1.5	1.5	1.5
			ブーム (4) シリンダー	mm	1.5	1.5	1.5
			ブーム (5) シリンダー	mm	1.5	1.5	1.5
		(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min)		10	10	10
			[図面No.]				
		☆ ブームシリンダー 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	58±5	69±5	35±5
			縮み	sec	58±5	69±5	35±5
			ブーム (2) 伸び	sec	86±5	107±5	46±5
			縮み	sec	86±5	107±5	46±5
			ブーム (3) 伸び	sec	87±5	108±5	44±5
			縮み	sec	87±5	108±5	44±5
			ブーム (4) 伸び	sec	44±5	54±5	22±5
			縮み	sec	44±5	54±5	22±5
			ブーム (5) 伸び	sec	33±5	39±5	—
			縮み	sec	33±5	39±5	—
		(油圧ポンプ回転数) (作動油温度) (作業装置姿勢)	(min ⁻¹) (°C)		2200 50°±10	2200 50°±10	1870 50°±10
			[図面No.]		—	—	—
	洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa			
			油圧 水圧 飛距離	MPa m			
		空圧機	吐出圧力	MPa	4	4	4
			(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	550 1750±50 50°±10	550 1750±50 50°±10	550 1800±50 50°±10

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

[illegible]

国際建機販売（セルマック）

適用範囲		モデル名		5Z32 SCL150	5Z37 SCL150	4ZR21 SCM80		
		主仕様	吸吐弁型式	—	S バルブ	S バルブ	S バルブ	
			最大吐出量	m ³ /h	149	149	83	
			最大吐出圧力	MPa	7.6	7.6	8.1	
			ブーム最大地上高	m	32	37	21	
		適用号機		6895～	6778～	—		
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	35	35	30		
		弁シリンダー油圧	MPa	40	40	38		
		攪拌 ^{かくはん} モーター油圧	MPa	—	—	—		
		ブーム油圧	MPa	38	38	35		
		ACC ガス封入圧力	MPa	7	7	—		
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	2200±50	2200±50	2700±50		
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	1700±50	1700±50	1870±50		
	(作動油温度)	(℃)	50±10	50±10	50±10			
車体・安全装置	旋回	☆ 旋回ベアリング	外輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	674	674	674	
		取付けボルト の締め付け	内輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	674	674	674	
			旋回ボルトの交換基準	年	5	5	5	
	☆ 旋回作動速度	旋回速度	sec	174±5	207±5	104±5	±	
		(旋回作動角度)	(度)	365	365	365	()	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	2200±50	2200±50	2700±50	()	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	1700±50	1700±50	1870±50	()	
		(作動油温度)	(℃)	50°±10	50°±10	50°±10	()	
	アウトリガー	シリンダー	各垂直シリンダー	mm	1.0	1.0	1.0	
		自然伸縮量	(測定時間)	(min)	10	10	10	()
(作業装置姿勢)			[図面 No.]	—	—	—	[図 No.]	
特記事項								

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

検 査 基 準 値							

ブームライオン・ジャパン

適用範囲		モデル名		K23X-4Z	33X-4Z		
		主仕様	吸吐弁型式	—	DSバルブ	Sバルブ	
			最大吐出量	m ³ /h	66	120	
			最大吐出圧力	MPa	8	7/11	
			ブーム最大地上高	m	23.1	32.6	
		適用号機		K16273A015～	K16218A012～		
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	21	23/15	
			ローター回転数	回/min			
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹)	(2350±50)	(2300±50)		
			(min ⁻¹)	(1550±50)	(1450±50)		
			(℃)	(40±)	(40±)		
		回転速度 チェーンのたわみ	min ⁻¹	30±1	30±1		
			mm				
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹)	(2350±50)	(2300±50)		
			(min ⁻¹)	(1550±50)	(1450±50)		
			(℃)	(40±)	(40±)		
		真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	Pa (min)	()	()	
			圧力降下許容値 (保持時間)	Pa (min)	()	()	
			Vベルトのたわみ	mm			
	ブーム装置	シリンダー 自然降下量	ブーム (1) シリンダー	mm	2以下	2以下	
			ブーム (2) シリンダー	mm	2以下	2以下	
			ブーム (3) シリンダー	mm	2以下	2以下	
			ブーム (4) シリンダー	mm	2以下	2以下	
			ブーム (5) シリンダー	mm	2以下	2以下	
		(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min)	(15)	(15)		
				()	()		
			[図面No.]	[図 No.]	[図 No.]		
		☆ ブームシリンダー 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	45±10%	65±10%	
			縮み	sec	45±10%	75±10%	
			ブーム (2) 伸び	sec	30±10%	45±10%	
			縮み	sec	30±10%	45±10%	
			ブーム (3) 伸び	sec	20±10%	30±10%	
			縮み	sec	20±10%	30±10%	
		ブーム (4) 伸び	sec	10±10%	15±10%		
			縮み	sec	10±10%	15±10%	
			ブーム (5) 伸び	sec			
			縮み	sec			
		(油圧ポンプ回転数) (作動油温度) (作業装置姿勢)	(min ⁻¹)	(2350±50)	(2300±50)		
			(℃)	(40±)	(40±)		
			[図面No.]	[図 No.]	[図 No.]		
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	油圧 MPa 水压 MPa 飛距離 m				
		吐出圧力	MPa	0,7	0,7		
	空圧機	(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(2350±50) (1550±50) (40±)	(2300±50) (1450±50) (40±)		

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

[illegible]

ズームライオン・ジャパン

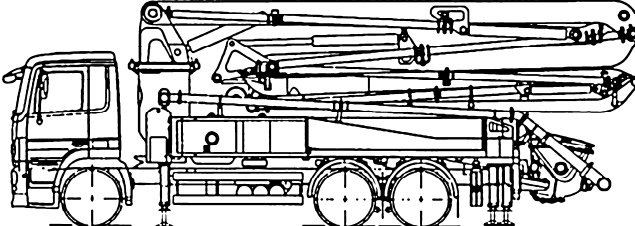
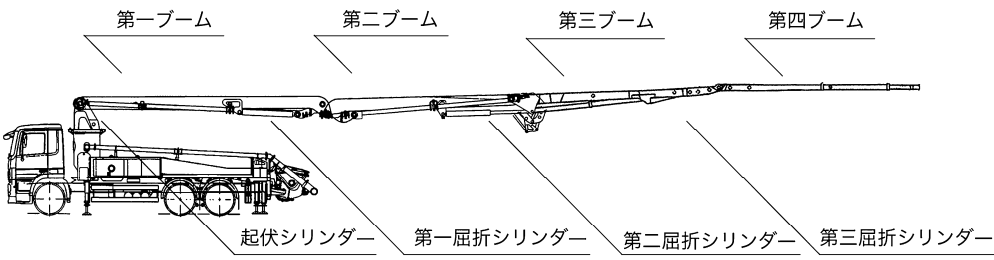
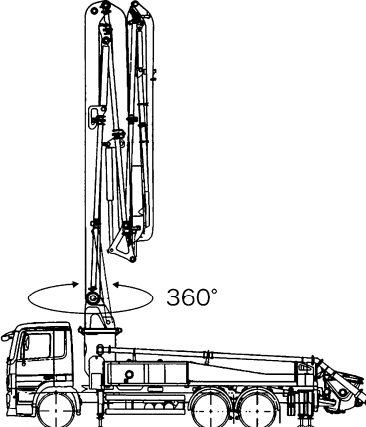
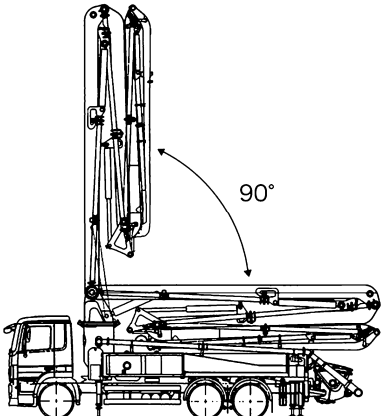
適用範囲		モデル名		K23X-4Z	33X-4Z			
		主仕様	吸吐弁型式	—	DSバルブ	Sバルブ		
			最大吐出量	m ³ /h	66	120		
			最大吐出圧力	MPa	8	7/11		
			ブーム最大地上高	m	23.1	32.6		
		適用号機		K16273A015～	K16218A012～			
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	32	35			
		弁シリンダー油圧	MPa	32	35			
		攪拌 ^{かくはん} モーター油圧	MPa	13	13			
		ブーム油圧	MPa	36	36			
		ACC ガス封入圧力	MPa					
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2350)	(2300)			
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1550)	(1450)				
	(作動油温度)	(℃)	(40±)	(40±)				
車体・安全装置	☆旋回装置	外輪取付けボルトの締め付けトルク	N・m	300	1200			
		内輪取付けボルトの締め付けトルク	N・m	300	1200			
		旋回ボルトの交換基準	年	注1	注1			
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	120±	200±			
		(旋回作動角度)	(度)	(270)	(270)			
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2350)	(2300)			
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1550)	(1450)			
		(作動油温度)	(℃)	(40±)	(40±)			
	アウトリガー	各垂直シリンダー	mm	2	2			
		(測定時間) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(15) [図 No.]	(15) [図 No.]			
特記事項				旋回ベアリング取付けボルトの中で1本でも緩み（新車基準トルク以下）、折損、脱落がある場合は外輪、内輪とも全数交換する				

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

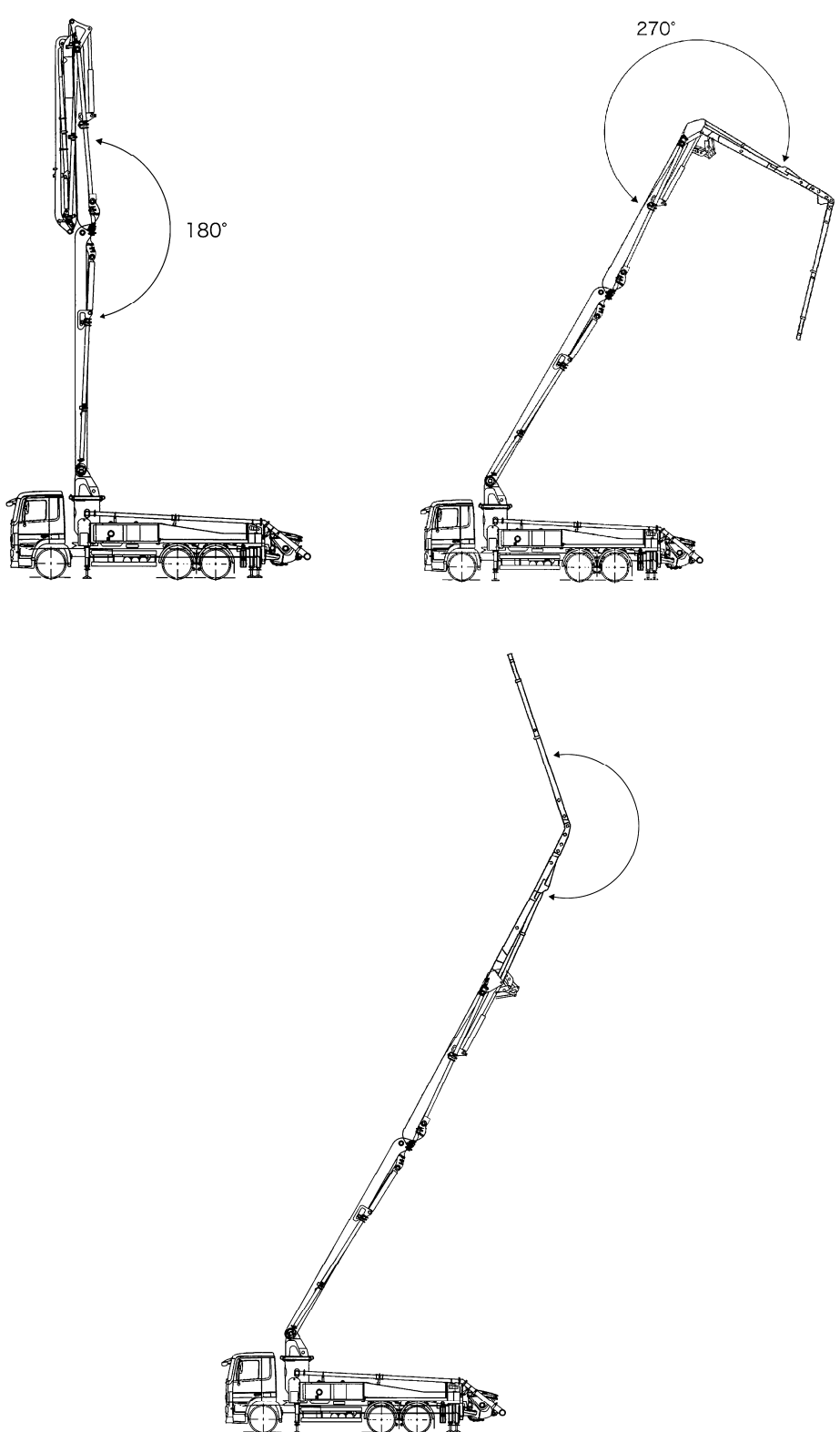
コンクリートポンプ車

検 査 基 準 値							

ズームライオン・ジャパン

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
アウトリガー シリンダー 自然降下		
ブーム シリンダー 自然降下		
ブーム旋回 作動速度		 360° 旋回  90°

コンクリートポンプ車

項目	測定方法	計測姿勢
ブーム シリンダー 作動速度		

日 工

適用範囲		モデル名		DC-M700BS	DC-M800BD-Z17 (φ215)	DC-M800BD-Z17 (φ205)	DC-M800BM-Z17 (φ215)
		主仕様	吸吐弁型式	—	板弁	スイングバルブ	スイングバルブ
			最大吐出量	m ³ /h	標準70、高圧45	標準77、高圧55	標準70、高圧50
			最大吐出圧力	MPa	標準4.9、高圧8.0	標準5.3、高圧8.2	標準5.3、高圧8.2
			フォーム最大地上高	m	16	16.6	16.6
		適用号機		5701～	8BD001	8BD001～	8BM001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ピストンストローク回数	回/min	28.5±1.0	26.0±1.0	26.0±1.0	26.0±1.0
		ローター回転数	回/min	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1550±50)	(1580±50)	(1580±50)	(1580±50)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2300±50)	(2350±55)	(2350±55)	(2350±55)
		(作動油温度)	(℃)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)
	攪拌装置	回転速度	min ⁻¹	40±2	40±3	40±3	40±3
		チェーンのたわみ	mm	10～15	10～15	10～15	10～15
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1550±50)	(1580±50)	(1580±50)	(1580±50)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000±50)	(2350±55)	(2350±55)	(2350±55)
		(作動油温度)	(℃)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)
	真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	Pa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		圧力降下許容値 (保持時間)	Pa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—
	シリンダー 自然降下量	ブーム(1) シリンダー	mm	2	2	2	2
		ブーム(2) シリンダー	mm	2	2	2	2
		ブーム(3) シリンダー	mm	2	2	2	2
	ブーム 自然降下量	ブーム(4) シリンダー	mm	—	—	—	—
		ブーム(5) シリンダー	mm	—	—	—	—
		(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]
	☆ ブームシリンダー 作動時間	ブーム(1) 伸び	sec	20±5/90°	30±5/90°	30±5/90°	30±5/90°
		縮み	sec	43±5/90°	43±5/90°	43±5/90°	43±5/90°
		ブーム(2) 伸び	sec	43±5/180°	43±5/210°	43±5/210°	43±5/210°
		縮み	sec	45±5/180°	45±5/210°	45±5/210°	45±5/210°
		ブーム(3) 伸び	sec	30±5/265°	30±5/270°	30±5/270°	30±5/270°
		縮み	sec	60±5/265°	60±5/270°	60±5/270°	60±5/270°
		ブーム(4) 伸び	sec	—	—	—	—
	☆ ブームシリンダー 作動時間	縮み	sec	—	—	—	—
		ブーム(5) 伸び	sec	—	—	—	—
		縮み	sec	—	—	—	—
	(油圧ポンプ回転数) (作動油温度) (作業装置姿勢)	(min ⁻¹)	(min ⁻¹)	(1550±50)	(1580±50)	(1580±50)	(1580±50)
		(℃)	(℃)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)
		[図面No.]	[図面No.]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	23.5	31.4	28.4	31.4
		油圧水圧 飛距離	MPa m	標準4.8、高圧7.9 —	標準5.0、高圧7.6 —	標準5.0、高圧7.6 —	標準5.0、高圧7.6 —
	空圧機	吐出圧力	MPa	0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

DC-M800BM-Z17 (φ205)	DC-SL1100BM-M26(φ215)	DC-L1100BD-M30(φ215)	DC-L1100BD-M30(φ205)	DC-L1100BM-M30(φ215)	DC-L1100BM-M30(φ205)		
スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ		
標準70、高圧50	標準107、高圧74	標準107、高圧74	標準97、高圧68	標準107、高圧74	標準97、高圧68		
標準5.3、高圧8.2	標準5.4、高圧8.2	標準5.4、高圧8.2	標準5.4、高圧8.2	標準5.4、高圧8.2	標準5.4、高圧8.2		
16.6	25.9	29.9	29.9	29.9	29.9		
8BM001～	26M011～	30D001～	30D001～	30M001～	30M001～		
検 査 基 準 値							
26.0±1.0 —	27.0±1.0 —	25.0±1.0 —	25.0±1.0 —	25.0±1.0 —	25.0±1.0 —		
(1580±50) (2350±55) (50±5)	(1800±50) (1900±55) (50±5)	(1800±50) (1900±55) (50±5)	(1800±50) (1900±55) (50±5)	(1800±50) (1900±55) (50±5)	(1800±50) (1900±55) (50±5)		
40±3 10～15	45±3 10～15	46±3 10～15	46±3 10～15	46±3 10～15	46±3 10～15		
(1580±50) (2350±55) (50±5)	(1800±50) (1900±55) (50±5)	(1800±50) (1900±55) (50±5)	(1800±50) (1900±55) (50±5)	(1800±50) (1900±55) (50±5)	(1800±50) (1900±55) (50±5)		
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)		
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)		
—	—	—	—	—	—		
2 2 2 — —	2 2 2 2 —	2 2 2 2 —	2 2 2 2 —	2 2 2 2 —	2 2 2 2 —		
(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]		
30±5/90° 43±5/90°	54±5/90° 71±5/90°	60±5/90° 80±5/90°	60±5/90° 80±5/90°	60±5/90° 80±5/90°	60±5/90° 80±5/90°		
43±5/210° 45±5/210°	80±5/180° 81±5/180°	92±5/180° 95±5/180°	92±5/180° 95±5/180°	92±5/180° 95±5/180°	92±5/180° 95±5/180°		
30±5/270° 60±5/270°	65±5/270° 88±5/270°	75±5/270° 100±5/270°	75±5/270° 100±5/270°	75±5/270° 100±5/270°	75±5/270° 100±5/270°		
— —	29±5/220° 63±5/220°	33±5/220° 70±5/220°	33±5/220° 70±5/220°	33±5/220° 70±5/220°	33±5/220° 70±5/220°		
— —	— —	— —	— —	— —	— —		
(1580±50) (50±5) [図 No. 3]	(1800±50) (50±5) [図 No. 3]	(1800±50) (50±5) [図 No. 3]	(1800±50) (50±5) [図 No. 3]	(1800±50) (50±5) [図 No. 3]	(1800±50) (50±5) [図 No. 3]		
28.4 標準5.0、高圧7.6 —	31.4 標準5.0、高圧7.6 —	31.4 標準5.0、高圧7.6 —	28.4 標準5.0、高圧7.6 —	31.4 標準5.0、高圧7.6 —	28.4 標準5.0、高圧7.6 —		
0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25		
(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)		

日 工

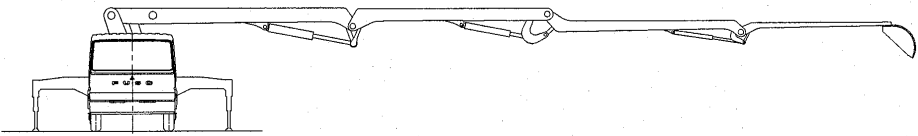
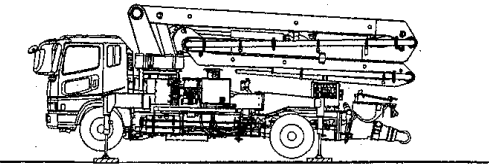
適用範囲		モデル名		DC-M700BS	DC-M800BD-Z17 (φ215)	DC-M800BD-Z17 (φ205)	DC-M800BM-Z17 (φ215)	
		主仕様	吸吐弁型式	—	板弁	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ
			最大吐出量	m ³ /h	標準70、高圧45	標準77、高圧55	標準70、高圧50	標準77、高圧55
			最大吐出圧力	MPa	標準4.9、高圧8.0	標準5.3、高圧8.2	標準5.3、高圧8.2	標準5.3、高圧8.2
			ブーム最大地上高	m	16	16.6	16.6	16.6
		適用号機		5701～	8BD001～	8BD001～	8BM001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	24.0±0.5	31.4±0.5	28.4±0.5	31.4±0.5	
		弁シリンダー油圧	MPa	24.0±0.5	31.4±0.5	28.4±0.5	31.4±0.5	
		攪拌 ^{かくはん} モーター油圧	MPa	15.2±0.5	16.2±0.5	16.2±0.5	16.2±0.5	
		ブーム油圧	MPa	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	
		ACC ガス封入圧力	MPa	—	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1550±50)	(1580±50)	(1580±50)	(1580±50)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000±50)	(2350±55)	(2350±55)	(2350±55)	
(作動油温度)	(℃)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)			
車体・安全装置	☆旋回装置	外輪取付けボルトの締め付けトルク	N・m	258.7	258.7	258.7	258.7	
		内輪取付けボルトの締め付けトルク	N・m	258.7	258.7	258.7	258.7	
		旋回ボルトの交換基準	年	注1	注1	注1	注1	
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	27.5±2.5/90°	30.0±2.5/90°	30.0±2.5/90°	30.0±2.5/90	
		(旋回作動角度)	(度)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1550±50)	(1580±50)	(1580±50)	(1580±50)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000±50)	(2350±55)	(2350±55)	(2350±55)	
	(作動油温度)	(℃)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)		
	アウトリガー	各垂直シリンダー	mm	2	2	2	2	
		(測定時間) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	15 [図 No. 2]	15 [図 No. 2]	15 [図 No. 2]	15 [図 No. 2]	
特記事項		シーケンス圧 (回転数 Min.)	MPa	2.9±0.2				
		ポンプ本体圧抜(静音圧) (回転数 Max.)	MPa	4.9±0.2				
				注1： 旋回ベアリング取付けボルトの中で1本でも緩み (新車基準トルク以下)、折損、脱落がある場合は 外輪、内輪とも全数交換する。				

☆印：新車基準値を表す(参考値)。

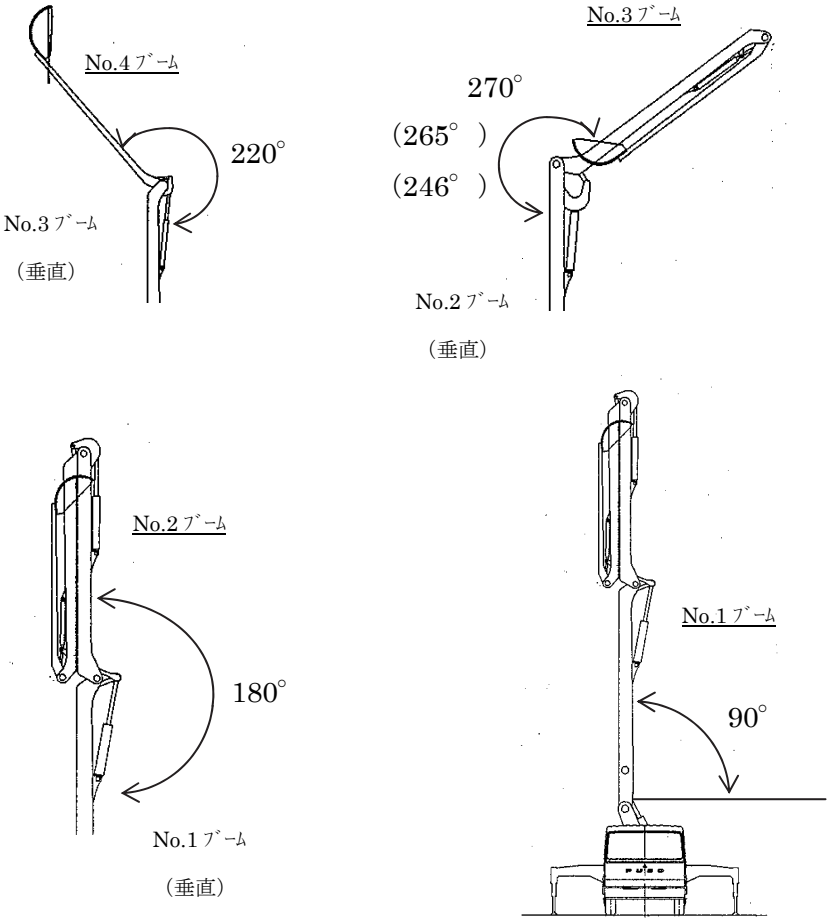
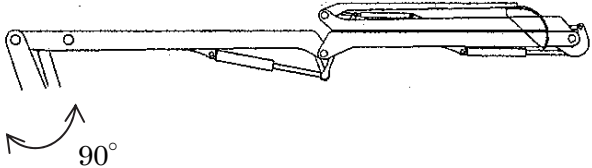
コンクリートポンプ車

DC-M800BM-Z17 (φ205)	DC-SL1100BM- M26(φ215)	DC-L1100BD- M30(φ215)	DC-L1100BD- M30(φ205)	DC-L1100BM- M30(φ215)	DC-L1100BM- M30(φ205)		
スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ		
標準70、高圧50	標準107、高圧74	標準107、高圧74	標準97、高圧68	標準107、高圧74	標準97、高圧68		
標準5.3、高圧8.2	標準5.4、高圧8.2	標準5.4、高圧8.2	標準5.4、高圧8.2	標準5.4、高圧8.2	標準5.4、高圧8.2		
16.6	25.9	29.9	29.9	29.9	29.9		
8BM001～	26M011～	30D001～	30D001～	30M001～	30M001～		
検 査 基 準 値							
28.4±0.5	31.4±0.5	31.4±0.5	28.4±0.5	31.4±0.5	28.4±0.5		
28.4±0.5	31.4±0.5	31.4±0.5	28.4±0.5	31.4±0.5	28.4±0.5		
16.2±0.5	16.2±0.5	16.2±0.5	16.2±0.5	16.2±0.5	16.2±0.5		
27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5		
—	—	—	—	—	—		
(1580±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)		
(2350±55)	(1900±55)	(1900±55)	(1900±55)	(1900±55)	(1900±55)		
(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)		
258.7	495.9	495.9	495.9	495.9	495.9		
258.7	495.9	495.9	495.9	495.9	495.9		
注1	注1	注1	注1	注1	注1		
30.0±2.5/90°	46±2.5/90°	55±2.5/90°	55±2.5/90°	55±2.5/90°	55±2.5/90°		
(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)		
(1580±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)		
(2350±55)	(1900±55)	(1900±55)	(1900±55)	(1900±55)	(1900±55)		
(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)		
2	2	2	2	2	2		
15	15	15	15	15	15		
[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]		
2.9±0.2							
4.9±0.2							
注1： 旋回ベアリング取付けボルトの中で1本でも緩み（新車基準トルク以下）、 折損、脱落がある場合は外輪、内輪とも全数交換する。							

日 工

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブーム シリンダー 自然降下	No. 1ブーム～No. 4ブームまで 水平に伸ばして計測する。 10分間のシリンダー伸縮量を 計測する。	図-1 ブームシリンダー自然降下計測姿勢 
アウトリガー シリンダー 自然伸縮	ブームを収納状態にし、アウ トリガーを張出し、15分間の 自然伸縮量を計測する。	図-2 アウトリガーシリンダー自然伸縮計測姿勢 

コンクリートポンプ車

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブーム作動速度	各シリンダーを下図の姿勢で、それぞれの角度を作動する時間を計測する。	図-3 ブーム作動時間計測姿勢 
旋回作動速度	ブームを下図の姿勢にして90° 旋回時の作動時間を計測する。	図-4 旋回作動速度計測姿勢 

プツマイスタージャパン

適用範囲		モデル名		BSF24.11H	BSF32-4.16H	BSF36-4.16H	BSF38-5.16H
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁
			最大吐出量	m ³ /h 110	160(108)	160	160
			最大吐出圧力	MPa 7.8	8.5(13)	8.5	8.5
			ブーム最大地上高	m 24	32	36	38
		適用号機		214402075～	210107559～	214400765～	214400929～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	30	30	30
			ローター回転数	回/min	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹)	(2360)	(2620)	(2620)	(2620)
			(min ⁻¹)	(1550±50)	(1720±50)	(1720±50)	(1720±50)
			(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
		回転速度 チェーンのたわみ	min ⁻¹	35±1	38±1	38±1	38±1
			mm	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹)	(2360)	(2620)	(2620)	(2620)
			(min ⁻¹)	(1550±50)	(1720±50)	(1720±50)	(1720±50)
			(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
	真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	Pa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		圧力降下許容値 (保持時間)	Pa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—
	ブーム装置	シリンダー 自然降下量	ブーム (1) シリンダー	mm	1.5 以下	1.5 以下	1.5 以下
			ブーム (2) シリンダー	mm	1.5 以下	1.5 以下	1.5 以下
			ブーム (3) シリンダー	mm	1.5 以下	1.5 以下	1.5 以下
			ブーム (4) シリンダー	mm	1.5 以下	1.5 以下	1.5 以下
			ブーム (5) シリンダー	mm	—	—	—
		(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min)	(10)	(10)	(10)	(10)
				(—)	(—)	(—)	(—)
			[図面No.]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]
		☆ ブームシリンダー 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	60±10	65±10	80±10
			縮み	sec	60±10	65±10	80±10
			ブーム (2) 伸び	sec	70±10	90±10	100±10
			縮み	sec	70±10	90±10	100±10
			ブーム (3) 伸び	sec	75±10	80±10	90±10
			縮み	sec	75±10	80±10	90±10
			ブーム (4) 伸び	sec	55±10	60±10	60±10
			縮み	sec	55±10	60±10	60±10
			ブーム (5) 伸び	sec			60±10
			縮み	sec			60±10
		(油圧ポンプ回転数) (作動油温度) (作業装置姿勢)	(min ⁻¹)	(2360)	(2620)	(2620)	(2620)
			(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
			[図面No.]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	油圧	MPa	—	—	—
			水圧	MPa	—	—	—
			飛距離	m	—	—	—
	空圧機	吐出圧力		MPa	—	—	—
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)
			(作動油温度)	(℃)	(—)	(—)	(—)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

BSF2110HP							
揺動弁							
106 (69)							
15 (22)							
-							
210106278～							
検 査 基 準 値							
26 —							
(2450) (1610±50) (50±10)							
36±1 —							
(2450) (1610±50) (50±10)							
— (—)							
— (—)							
—							
— — — — —							
(—) (—)							
— —							
— —							
— —							
— —							
— —							
(—) (—)							
— — —							
—							
(—) (—) (—)							

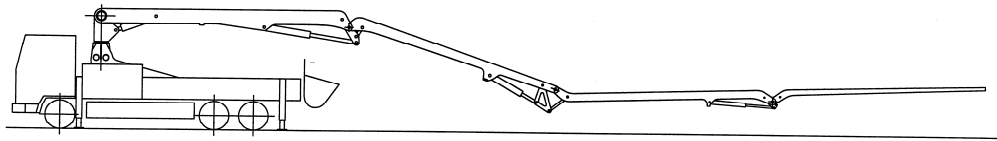
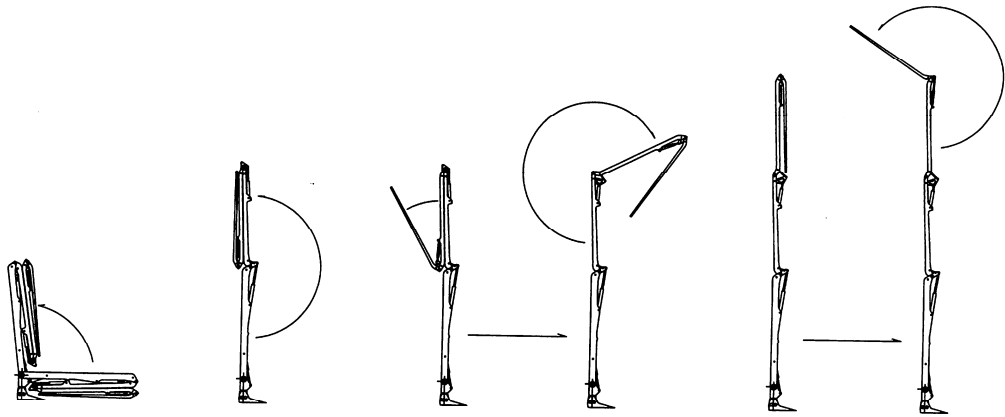
プツマイスタージャパン

適用範囲		モデル名		BSF24. 11H	BSF32-4. 16H	BSF36-4. 16H	BSF38-5. 16H	
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁
			最大吐出量	m ³ /h	110	160(108)	160	160
			最大吐出圧力	MPa	7.8	8.5(13)	8.5	8.5
			ブーム最大地上高	m	24	32	36	38
		適用号機		214402075～	210107559～	214400765～	214400929～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	36±1	36±1	36±1	36±1	
		弁シリンダー油圧	MPa	19±1	19±1	19±1	19±1	
		攪拌 ^{かくはん} モーター油圧	MPa	16±1	11±1	11±1	11±1	
		ブーム油圧	MPa	35±1	35±1	35±1	35±1	
		ACC ガス封入圧力	MPa	9±0.5	9±0.5	9±0.5	9±0.5	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2360)	(2620)	(2620)	(2620)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1550±50)	(1720±50)	(1720±50)	(1720±50)	
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	
車体・安全装置	☆旋回装置	外輪取付けボルトの締め付けトルク	N・m	—	300Nm+120°	300Nm+120°	300Nm+120°	
		内輪取付けボルトの締め付けトルク	N・m	—	300Nm+120°	300Nm+120°	300Nm+120°	
		旋回ボルトの交換基準	年	—	注2	注2	注2	
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	95±15	155±15	160±15	160±15	
		(旋回作動角度)	(度)	(360)	(360)	(360)	(360)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2360)	(2620)	(2620)	(2620)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1550±50)	(1720±50)	(1720±50)	(1720±50)	
	(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)		
	アウトリガー	各垂直シリンダー	mm	1.0 以下	1.0 以下	1.0 以下	1.0 以下	
		(測定時間) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) [図 No. ー]	(10) [図 No. ー]	(10) [図 No. ー]	(10) [図 No. ー]	
特記事項					注2: 旋回ベアリング取付けボルトの中で緩み、折損、脱落がある場合は、そのボルトと両隣各2本のボルトを交換する。また交換する際は指定する回転角締結法に従うこと。			

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

BSF2110HP							
揺動弁							
106 (69)							
15 (22)							
—							
210106278～							
検 査 基 準 値							
36±1 19±1 16±1 — 9±0.5							
(2450) (1610±50) (50±10)							
—							
—							
—							
—							
—							
—							
—							
1.0 以下							
(10) [図 No. —]							

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブーム シリンダー 自然降下	図-1 ブームシリンダー自然降下量測定姿勢 (下図参照) 	
ブーム作動速度	図-2 ブーム作動速度測定姿勢  ブーム (1) ブーム (2) ブーム (3) ブーム (4) ブーム (4) を少し開いて行う (リンクとの干渉を避ける為) ブーム (4) を僅か開いたところからスタート (リンクとの干渉を避ける為)	

コンクリートポンプ車

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢

ベトンテック (エヴァダイム)

適用範囲		モデル名		28M	30M	36M	
		主仕様	吸吐弁型式	—			
			最大吐出量	m ³ /h	106(72)	157(106)	157(106)
			最大吐出圧力	MPa	8.7(13)	8.7(13)	8.7(13)
			フォーム最大地上高	m	27.6	29.2	35.1
		適用号機					
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	27	35	35
			ローター回転数	回/min	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹)	()	(2460)	(2610)	(2610)
			(min ⁻¹)	()	(1650±50)	(1750±50)	(1750±50)
			(℃)	()	(50±10)	(50±10)	(50±10)
		攪拌装置	回転速度	min ⁻¹	±	±	±
			チェーンのたわみ	mm			
			(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(2460) (1650±50) (50±10)	(2610) (1750±50) (50±10)	(2610) (1750±50) (50±10)
		真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	Pa (min)	()	()	()
			圧力降下許容値 (保持時間)	Pa (min)	()	()	()
			Vベルトのたわみ	mm			
	ブーム装置	シリンダー 自然降下量	ブーム (1) シリンダー	mm	1.5mm	1.5mm	1.5mm
			ブーム (2) シリンダー	mm	1.5mm	1.5mm	1.5mm
			ブーム (3) シリンダー	mm	1.5mm	1.5mm	1.5mm
			ブーム (4) シリンダー	mm	1.5mm	1.5mm	1.5mm
			ブーム (5) シリンダー	mm	1.5mm	1.5mm	1.5mm
		(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min)	()	(10)	(10)	(10)
			[図面No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]
			[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]
		☆ ブームシリンダー 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	75±15%	60±15%	75±15%
			ブーム (1) 縮み	sec	75±15%	60±15%	75±15%
			ブーム (2) 伸び	sec	98±15%	100±15%	98±15%
			ブーム (2) 縮み	sec	98±15%	100±15%	98±15%
			ブーム (3) 伸び	sec	91±15%	90±15%	68±15%
			ブーム (3) 縮み	sec	91±15%	90±15%	68±15%
		(油圧ポンプ回転数) (作動油温度) (作業装置姿勢)	ブーム (4) 伸び	sec	46±15%	45±15%	46±15%
			ブーム (4) 縮み	sec	46±15%	45±15%	46±15%
			ブーム (5) 伸び	sec			
			ブーム (5) 縮み	sec			
			(油圧ポンプ回転数) (作動油温度) (作業装置姿勢)	(min ⁻¹) (℃) [図面No.]	(2460) (50±10) [図 No.]	(2610) (50±10) [図 No.]	(2610) (50±10) [図 No.]
	洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa			
			油圧 水圧 飛距離	MPa m			
		空圧機	吐出圧力	MPa	3	3	3
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹)	()	(2460)	(2610)	(2610)
			(min ⁻¹)	()	(1650±50)	(1750±50)	(1750±50)
			(℃)	()	(50±10)	(50±10)	(50±10)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

[illegible]

ベトンテック (エヴァダイム)

適用範囲		モデル名		28M	30M	36M		
		主仕様	吸吐弁型式	—				
			最大吐出量	m ³ /h	106(72)	157(106)	157(106)	
			最大吐出圧力	MPa	8.7(13)	8.7(13)	8.7(13)	
			ブーム最大地上高	m	27.6	29.2	35.1	
		適用号機						
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	36±2	36±2	36±2		
		弁シリンダー油圧	MPa	19±1	19±1	19±1		
		かくはん 攪拌モータ油圧	MPa	16±1	16±1	16±1		
		ブーム油圧	MPa	35±1.5	35±1.5	35±1.5		
		ACC ガス封入圧力	MPa	9±0.5	9±0.5	9±0.5		
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2460)	(2610)	(2610)		
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1650±50)	(1750±50)	(1750±50)		
	(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)			
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締め付け	外輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m					
		内輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m					
		旋回ボルトの交換基準	年					
	☆ 旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	140±15%	120±15%	140±15%		
		(旋回作動角度)	(度)	(360)	(360)	(360)		
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2460)	(2610)	(2610)		
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1650±50)	(1750±50)	(1750±50)		
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)		
	☆ シリンダー 自然伸縮量	各垂直シリンダー	mm	1	1	1		
(測定時間)		(min)	(10)	(10)	(10)			
	(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]			
特記事項								

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

検 査 基 準 値							

コンクリートポンプ車検査・整備基準値表

平成 12 年 3 月	初版発行
平成 18 年 1 月	改訂 A 版発行
平成 23 年 3 月	改訂 B 版発行
平成 28 年 3 月	改訂 C 版発行

発行 公益 建設荷役車両安全技術協会
社団法人

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 3 丁目 7 番 1 号
(ニュー九段ビル 9 階)

電 話 03-3221-3661

FAX 03-3221-3665

URL <http://www.sacl.or.jp>